



PD-L1 検査適応拡大のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、新たな適応疾患を追加して検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● PD-L1/28-8 化学治療を併用した非小細胞肺癌に適用

(依頼コード No.13053)

新適応疾患受託開始日 2021年1月4日(月) 受付分より

2017年2月に保険収載されたPD-L1 検査はPD-1/PD-L1に対する免疫チェックポイント阻害剤の使用の可否判定に関わるコンパニオン検査やコンプリメンタリー検査となっています。受託開始当初はPD-L1/28-8検査は非扁平上皮非小細胞肺癌を対象とした検査でしたが、対象治療薬の効能拡大に伴い、頭頸部癌(2017年5月)、悪性黒色腫(2018年5月)に保険適応拡大となり、今回、化学治療を併用した非小細胞肺癌につきましても保険適応拡大となりました。

今回、[PD-L1/28-8]の既存コードNo.13053で、化学治療を併用した非小細胞肺癌の受託を開始しますので、ご案内いたします。

なお判定や報告書作成の際、検査材料や癌腫は必須の情報となりますので、依頼書に記入していただくようお願い申し上げます。

受託要領	依頼コード No.	13053
検体必要量	<ul style="list-style-type: none"> ・未染色スライド標本4枚(切片は4μm厚) ・パラフィン包埋ブロック(別途スライド作製料が必要) 	
検体の保存方法	室温	
検査方法	免疫組織化学染色(IHC)	
所要日数	7~10	
保険点数	2700点	
検体提出のご注意	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずシラン等のコーティングスライドをご使用ください。 ・ホルマリン固定パラフィン包埋した病理組織標本対象の検査となります。 ・病理診断名、病理所見、材料は判定上必要となりますので、ご記入ください。 	

